

人手不足業種を中心に、外国人人材が不可欠な存在となっている。様々な主体が連携して外国人が働きやすい職場作り、暮らしやすい生活環境作りに力を入れる必要がある。

千葉県の24年10月末時点の外国人労働者数は前年比+17.3%増の92,516人、外国人を雇用する事業所数は同+10.4%増の15,059か所となり、過去最多を更新した(図表1)。労働者数の内訳を業種別にみると、宿泊・飲食サービス(同+29.9%増)、建設業(同+25.3%増)、医療福祉(同+23.6%増)など人手不足業種の伸びが目立った。在留資格別では、即戦力を受け入れる「特定技能労働」(前年比+33.7%増)を含む「専門的技術的分野」(同+25.3%増)が大きく増加した。

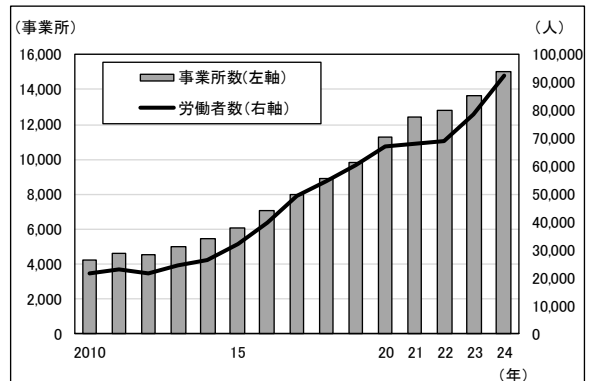
深刻化する人手不足を背景に、日本全体でも、労働者、事業所数ともに過去最多を更新しているが(労働者数:前年比+12.4%の2,302,587人、事業所数:同+7.3%の342,087か所)、千葉県では、雇用の受け皿の豊富さや住環境の良さなどから、いずれの伸びも全国を上回った。千葉経済センターが昨年実施した県内企業へのアンケート(図表2)では、半数を超える先(50.2%)が外国人雇用に対し「前向き」と回答しており、今後も増加基調が続くことが予想される。

24年6月時点で県内には219,131人の在留外国人がおり、総人口に占める割合は3.5%と、10年間でほぼ倍増した(図表3)。ちばぎん総研の推計では、2050年には6.6%、2070年には11.3%まで上昇する見通しである。外国人労働者の増加の勢いを踏まえると、国籍の異なる人々が地域社会の構成員として共に生きていく多文化共生の地域づくりが急がれる。

千葉県が昨年12月に策定した「千葉県外国人活躍・多文化共生推進プラン」(図表4)では、外国人県民を地域の担い手と認識したうえで、誰もが活躍し、将来にわたって活力を生み出せる県づくりに向けて、「活躍」、「共生」、「連携」の施策目標に沿って、外国人の採用・定着の支援や日本語教育の充実などの事業を進めるとしている。また、航空業界の人材不足が続くなか、機能強化を進める成田空港では、自治体や空港関連企業らによる「外国人材・定住促進連絡会」が発足し、外国人人材の定着に向けた議論が進められている。

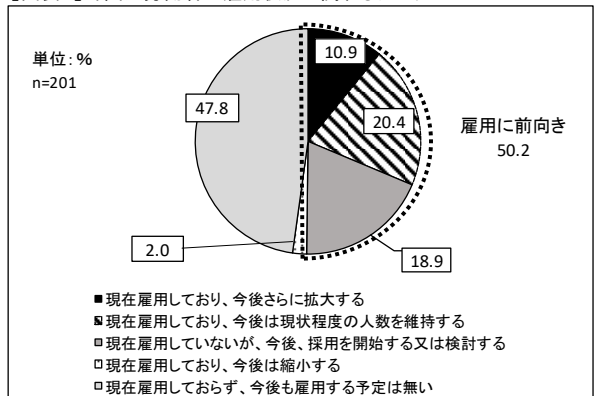
千葉県では、全国ペースを上回って外国人労働者が増加しており、人手不足業種を中心に外国人人材が不可欠な存在となっている。人材育成と確保を目的とした「育成就労」制度の創設など、国内で受け入れ体制の整備が進むもとで、企業や自治体のみならず、大学やボランティア団体、NPOなど様々な主体が連携して外国人が働きやすい職場作り、暮らしやすい生活環境作りに力を入れる必要がある(下出)。

【図表1】外国人労働者数、外国人雇用事業所数の推移(千葉県)



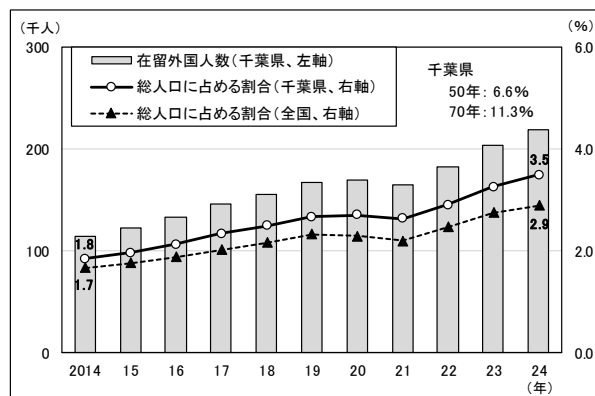
(出所) 千葉労働局の資料をもとに、ちばぎん総研が作成

【図表2】外国人労働者の雇用状況に関するアンケート



(出所) 千葉経済センター

【図表3】在留外国人の推移(千葉県)



(出所) 千葉県(推計は、ちばぎん総研)

【図表4】千葉県外国人活躍・多文化共生推進プラン

| 施策目標 | 施策体系            | 主な内容                                   |
|------|-----------------|----------------------------------------|
| 活躍   | 働き手としての活躍       | 外国人留学生等の就職に向けた支援<br>外国人採用・定着に関する支援     |
|      | 地域の担い手としての活躍    | 多文化共生意識の醸成<br>外国人県民の活躍の場づくり            |
| 共生   | コミュニケーション支援     | 地域日本語教育の充実<br>「やさしい日本語」の普及             |
|      | 子どもの教育環境の整備     | 外国人児童生徒等教育の指導体制の整備<br>教員・指導員等の養成・確保    |
|      | 防災・防犯・交通安全対策の推進 | 防災情報の多言語化・「やさしい日本語」化<br>災害時の外国人支援体制づくり |
|      | 住宅・医療・保健・福祉の充実  | 住環境の整備<br>医療環境の整備                      |
| 連携   | -               | 様々な主体の連携・協働                            |

(出所) 千葉県の資料をもとに、ちばぎん総研が作成